

令和元年度美里町教育委員会評価委員会第2回会議

日 時 令和元年7月29日(月曜日)

午後1時30分開会

場 所 美里町役場南郷庁舎201会議室

出席委員

会 長 齋藤 寧

委 員 邊見 俊三

委 員 新田 耕一

欠席委員 なし

教育委員会事務局出席者

教育長 大友 義孝

教育次長 佐々木信幸

傍聴者 0人

議事日程

1 開 会

2 挨 拶

3 議長就任

4 議事録署名人及び書記の指名

5 審 議

(1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

点検評価報告書の変更点について

評価委員会からの意見の取りまとめについて

(2) その他

6 閉 会

午後 1 時 3 0 分 開会

日程第 1 開 会

- 教育次長（佐々木信幸） それでは、定刻となりました。美里町教育委員会評価委員会第 2 回会議を開催させていただきます。よろしくお願いいたします。会議次第にのっとって進めさせていただきます。
-

日程第 2 挨 拶

- 教育次長（佐々木信幸） 最初に、会長であります齋藤先生から御挨拶を一言お願いしたいと思います。
- 会長（齋藤 寧） こんにちは。

大変お忙しいところお集まりいただきました。第 2 回目の会議ということでございます。大変お世話さまでございます。

暑い、暑いというふうになってきたんですが、まだ梅雨明け宣言は、まだこっちのほう出ていないんでしょうか。本当に暑くて。いつもだと県大会、中学校のが始まるころに梅雨明け宣言が出されたこと思い出しておりましたけれども。目の前の冷たいお茶が非常に、いただいてしまいましたけれども、ありがとうございます。

さて、教育長先生、それから次長先生にも、まず膨大な資料、それから我々評価委員からの意見書ということでまとめていただきました。それから資料も改めてそろえていただきました。お忙しい中、本当にありがとうございます。

第 2 回目ということでございますが、審議何点かございます。ポイントをしっかり絞っていただいて、できれば短時間で終わることができればなというふうに思っております。本日もよろしくお願いいたします。終わります。

- 教育次長（佐々木信幸） ありがとうございます。

続きまして、大友義孝教育長から挨拶を申し上げます。

- 教育長（大友義孝） 皆さん、こんにちは。

忙しいところ、第 2 回目の評価委員会、お集まりをいただきまして本当にありがとうございました。

また、委員の皆様方からは今回の事務点検評価にかかわります評価報告書まで頂戴いたしまして、本当にありがとうございます。お忙しい中で大変だったろうなというふうに思っております。今後、この意見をいただいた部分を自己点検評価の中に加え、そして整理したいというふうに考えておりますので、ひとつお願いいたします。

先ほど、会長さんのお話にもありましたように、今現在、暑さ指数が31.4ということで、気温が32.8度だそうでございます。今現在、スマートフォンなどの情報がいつでも入手できるような状況になっておりまして、会長さんと先ほどお話ししておりましたら、あと10分後に雨が来るということで外を見ていただきますと、本当に雨が来ております。そして、これから1時間後にはどしゃ降りの雨が降る予告なども出されておりますので、本当にこの暑さの中にはこの雨もちょっといいところもあるんでしょうけれども、それが済みますと、今度は蒸し返しということが出るのではないかなというふうに思っております。現在、中学校では駅伝競走大会の練習をしておりまして、今日はもう中止ということでお願いもしているところでもございます。

ちょっと振り返りますと、先週でございましたが、金曜日の日に遠田郡小中学校PTA役員経験者OB会というのを設立されておりまして、その拡大OB会といいますか、これからOBになる方も含めての御参加を20名の方からいただきまして、教育長、来いということで、夕方でもございましたがお邪魔させていただきました。そうしましたら、何と何と、皆さん方、お集まりいただいた皆様方から御意見を頂戴しましたところ、PTAと行政区の皆さんと、とにかく相互協力をして児童生徒の健全な育成をサポートしていきたいんだというふうな意思表示でございました。そういった中で、本当に教育委員会にとりましてはありがたいお話であるなというふうに思っております。現職の会長さんや役員の方もいらっしゃるわけですが、少し長い時間をとって、懇親の場でいろんなお話をさせていただいたところ、とにかく今話題であります新しい統合中学校、こちらの関係については推進連絡協議会という部分を設立されているようでございまして、教育委員会、そして子供たちへのバックアップをしたいというふうな意思表示が本当にありだなというふうに感じて、大変心強い思いで、その晩、うれしくうちに帰ったわけでございます。

そして、その次の日には、こちらに新田委員もいらっしゃいますが、秋にアメリカウイノナ市へ訪問されるアンバサダーを選考させていただくために、国際交流協会が中心となってその選考をしていただきました。今年は、会長さんがおっしゃっていたんですが、男子生徒がいつもに比べて多いということでございまして、まだ結果は私聞いていないんですが、申し

込みの方全員行けばいいところなんです、数名の方が次回以降になるのかなというふうに思っているところであります。そういったものも、この1週間の中で各行事に向けて目まぐるしく動いているというところでございます。

委員の皆さん、本当にお忙しいところでございますが、本日もどうか御審議のほど、よろしくお願いいたします。終わります。

日程第3 議長就任

- 教育次長（佐々木信幸） それでは、次第の3番目になります。議長就任ですが、議長につきましては、美里町教育委員会評価委員会条例第6条によりまして、会長が議長となるという定めがございますので、齋藤先生に議長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

では、すみません、よろしくお願いいたします。

日程第4 議事録署名人及び書記の指名

- 議長（齋藤 寧） それでは、第2回目の会議ということで、改めましてよろしくお願いいたします。
 - 教育次長（佐々木信幸） よろしく申し上げます。
 - 議長（齋藤 寧） 4番目から、よろしくお願いいたします。
 - 教育次長（佐々木信幸） 4番の議事録署名人及び書記の指名なのですが、齋藤会長さん以外のお二人の邊見委員さんと新田委員さんに署名人をお願いしたいと思っております。書記は事務局の私、佐々木が務めさせていただきたいと思いますので、お諮りいただければと思います。
 - 議長（齋藤 寧） それでは、議事録署名人として邊見委員さん、それから新田委員さん、そして書記には佐々木次長先生ということでよろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。（「よろしくお願いいたします」の声あり）
-

日程第5 審 議

- 議長（齋藤 寧） それでは早速、審議ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）大きな5番の審議でございます。

（1）番目、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について。 、 ございますが、 について、点検・評価報告書の変更点ということで、次長先生お願いいたします。

○教育次長（佐々木信幸） では、私から。

まず説明に入る前に、今日の資料の確認をさせていただきます。

まず1つ目、本日の次第でございます。

2枚目が、まだ日付が入っておりません。令和元年、あと月日ということで、評価委員会の会長であります齋藤先生から大友教育長に宛てた検証結果の報告についてという文書の案でございます。これは、本日、評価委員さん方の意見の内容を取りまとめいただき、意見書として調整ができました後にこの添書をつけて教育委員会に意見書として提出をいただくという順番になりますけれども、その際の表の紙になりますので御承知おきをいただきたいと思いますと思ひまして、本日資料としてつけさせていただきました。

次が、大きく上に案と書いてあります評価委員会からの意見ということです。ローマ数字のがついておりますが、これは点検・評価の報告書に入った際にはこのページ、下に56ページとありますが、そこから掲載される部分の体裁で今つくっておりますが、先ほど申し上げた意見書として御提出いただく場合にはこのローマ数字等はとらせていただいて、意見書として書類をつくりたいというふうに思っております。

それで、本日お示ししましたこの案につきましては、前回の評価委員会のときに22日まで御提出をいただくということでいただいた意見書を、一応大きな項目にちょっと整理させていただきましてつくった資料でございますが、文面等については余り手を加えずにそのまま載っておりますので、内容についてはちょっと重複している部分などがございますが、これは のところで皆様のお話をお聞きしながら調整をさせていただきたいというふうに思います。

それから、一番厚い冊子です。点検・評価の報告書になりますが、これは今から内容についてちょっと変更したところがあるので御説明をいたします。

それから、収受印がついてある書類があると思います。これは皆様からいただいた意見書をそのまま印刷したものでございますので、 の協議の部分で参考にさせていただければというふうに思っております。

それから、アンケート調査集計結果表。これ実はちょっと変更点がございましたので、この後の変更点の部分で少しお話をさせていただきたいというふうに思っております。

以上の書類ですが、皆様、お手元にあるでしょうか。（「はい」の声あり）

それでは、 の点検・評価報告書の変更点についてを説明させていただきます。

まず今、最後にお示ししましたアンケート調査集計結果表をまずごらんいただきたいと思います思います。

これ実は、前回の評価委員会の際にお示しした際には、ある中学校からの回答で記入漏れがあったところがございます、それをその後に確認させていただきまして追加した部分がございます。

ページで申し上げますと6ページになりますけれども、これは前のページからの続きで、設問が学力向上支援員についてということで、効果について、学力向上に効果があるかという設問に対して、のどちらともいえないと答えた部分、6ページの下になりますが、そちらの御意見として2つ、今回ちょっと薄いんですが網がけをさせていただきましたけれども、これがどちらともいえないを選んだ理由ということで2つ加えさせていただきました。前回のときにはこれが回答漏れということで入っておりませんでしたので、今回追記させていただいております。

それからもう一か所ございまして、8ページをお開きください。これも前のページからの設問の続きです。学び支援コーディネーター等配置事業についての効果の部分で、のどちらともいえないを選んだ中学校がありましたけれども、2校あったんですが、そのうちの1校がやはり理由が回答漏れでしたので、8ページの上の部分、網がけをした部分2つありますけれども、これが今回、回答として記入を追加させていただいたところです。

内容については記載のとおりです。

アンケート調査の数の集計部分には今回影響ございませんでしたので、大きく変わるものではございませんが、今回差し替えということでお願いをしたいと思います。よろしくお願いします。

それでは、点検・評価報告書のほうの変更点、修正点を説明させていただきますので、資料をごらんいただきたいと思います。

まず1点目ですが、4ページ、大きな2の教育委員会組織です。

前回の評価委員会でもここは間違っていましたということでお話をしましたが、教育委員会、大きな、まず最初のがありまして、事務局、教育総務課、その中の係の一番下の学校教育環境整備室、これに前、推進という言葉がついておりましたが、それが誤りでしたので、今回それをとって修正をしております。

それから、6ページをお開きください。

グラフのページがございますが、ほかのグラフでも実は同じような修正をしておりますが、前のグラフと後で見ていただくとわかるんですが、グラフの色別のグラフ、色別といっても白黒なんですが、間に線を入れたんです、輪郭といたらいいんでしょうか。囲いの線を入れま

したので、前回ちょっとその境目がはっきりしないぼんやりしたグラフだったんですが、輪郭線を入れたことで少しグラフが見やすくなったかなと思います。下の年度比較の帯グラフのほうも同様に、隣との境目に線を入れましたので、多少区別が付きやすくなったと思います。あと右側にあります凡例、これを少し文字を大きくしました。あとグラフの中にこう、線で書き出している凡例部分も同様に少し大きくしておりますので、前回よりは見やすくなったかなというふうに思っております。

それから、7ページ以降の会議運営状況の、前は発言者数という数字が入っていましたが、それ抜きました。今回の点検・評価でも基本的に発言者数は具体的に拾ってなくて、発言回数を数字として拾ってありましたので、発言者数の部分は除いたというところで表をつくり直してございます。13ページまで全て同じような表のつくりにいたしました。

それから、20ページ、大きな2の前年度の課題の改善状況というところをごらんいただきたいと思います。

(1)の下(1)研修の実施後におけるという部分の最初に34ページとあります。これ前回、実は35ページという表示だったんですが、今回34ページに訂正しております。

それから、同じ部分の3行目です。初赴任教員等の「等」が前回政党の「党」、自民党とかの「党」の文字になっていましたので、誤りでしたのでそれを直しました。

それから、その下の部分、2)の学校評議員の下の部分に括弧書きでページがあります。実はこれ齋藤先生からの御指摘にも、意見書の中にもあったんですけれども、前回の資料では52から53ページという書き方をしておったんですけれども、実際は、その資料の中では51から52ページにその内容が記載されておりましたので、誤りでしたということなんですけれども、今回グラフをちょっと調整したことでページがまた少しずれましたので、52ページということで今回修正をさせていただいております。

続きまして、33ページお開きください。

7)の校舎その他の施設関係で、実績の欄、 から までの後に、また が余計についておりました。誤りでしたのでそれを削除しております。

それから、ちょっと飛びますが50ページをお開きください。

この辺の表も、先ほど説明したのと同じようにグラフの輪郭を入れておりますので、グラフがくっついている表なんかの場合は少し見やすくなったかなと思っております。この50ページの表2つありますが、前回の資料では実は1つの表だったんです。小学校と中学校の両方を1つの表、1つのグラフに整理しておりましたが、2つ重なっている関係で少し見にくかったと

思いましたので、上の表を小学校の目標と実績値、下の表は中学生の目標値、実績値というふうに分けて記載をさせていただきましたので、表としてはすっきりしたかなと思っております。

それから、51ページの中段のグラフなんですけれども、実は前回このグラフをつくったときのつくり方で、初期値を86%でつくってございました。それで、実際表を見ますと数字的には余り開きがないのなんですけれども、グラフだけ見るとすごいばらつきが出ているように見えるんですね。そこで、初期値を50まで下げまして、全体的に表を少し大きく表すような感じにしました。ですので、そんなに数字の差はない、前年度、前々年度との差はないというのがちょっとわかるようになったかなと思います。

同じように、53ページに表が2つありますが、この下の表もそうだったんですが、前回では初期値を36人というところで押さえて作ったせいで、グラフの差が大変出てしまったんです。実際表を見ますと数字的には、39から42になったくらいでそんなに差はなかったので、初期値を少し下げまして、20というところで押さえて、グラフの差がそんなにないけれども多少はあるよというのがわかるかなというところでグラフを調整させていただきました。

前回の資料からの変更点は以上でございます。もし何か御質問等あればお願いしたいと思います。

○議長（齋藤 寧） それでは、点検・評価報告書の中の変更点で何点がございましたが、委員さん方から、特にこの点もというのはございますでしょうか。グラフもさらに見やすく切り目を入れたとか、それから表示ですね、表示についても少し拡大して見やすくしていただいたということもございました。それから実際のグラフの表し方、それについてもさらに見やすくということで、初期値っていうんでしょうか、その辺のところもお考えいただいて変更しましたというようなお話をいただきました。委員さん方から、その他特に見直すところございませんか。

○委員（新田耕一） 特に私はございません。

○議長（齋藤 寧） はい。邊見委員さん、よろしいですか。

○委員（邊見俊三） 特にありません。

○議長（齋藤 寧） それでは、特にないということで、よろしく願いいたします。

では（１）の に行ってよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

それでは、評価委員会からの意見の取りまとめについてということで、御説明よろしく願いいたします。

○教育次長（佐々木信幸） それでは、 の評価委員会からの意見の取りまとめについて御説明

をさせていただきます。

この評価委員会の役割の一番重要な部分になるのかなと思っております。

前回の評価委員会の後に委員の皆様から意見書としていただきました。先ほどお示しした資料A 4、4枚の収受印を押してある資料になりますが、これをいただきました後に、案とある評価委員会からの意見ということで取りまとめをさせていただきましたので、本日はこれを使いまして意見の整理をしていただければというふうに思います。

その案と示してあるほうの資料をごらんください。

まず、大きなタイトルとして、評価委員会からの意見。評価委員さん方の氏名、経歴、行政区、それから任期の記載がございます。その下に、第1回会議から第3回会議までの日程をお示ししております。3回目はまだ予定ではございますけれども、この冊子が公になる際には既に終了しているものですので一応入れさせていただきました。前回までこの会議日程は入っていなかったんですが、一応今回はこれも加えさせていただければというふうに思っております。

それから、大きい1番、点検・評価の対象と方法について。

これは例年同様、(1)と(2)。(1)は点検・評価の対象についての御意見、それから(2)点検・評価の方法についての御意見というふうに分類をさせていただきました。

それから、その次のページになりますが、大きな2としまして、点検・評価の結果についてということです。今回、点検・評価報告書で取りまとめをいたしました教育委員会での評価に対して、どのような御意見なのかというのをいただいたわけですが、それにつきましては、(1)の総合的な意見から、最後は(12)広報等についてという項目がありますけれども、大きく12の項目に、一応私の考えで整理をさせていただきました。その項目ごとに整理を一つ一つしていただきたいと思いますと思っておりますが、まず順番から、大きな1の(1)に戻りまして、そこからこういった内容でよろしいかどうかという御協議をいただきたいと思います。後のほうの文面でもそうなんですが、3人の委員さんに御意見をいただいておりますので、内容的に少し重複する部分ですとか、同じことに対してなんだけれどもちょっと違う表現で書かれていたりというのがございますので、この会議の中でその辺を調整いただいて整理をいただきたいというふうに思っております。

ではまず、(1)の部分から御協議いただきたいと思います。点検・評価の対象。

対象については、前回と同様に、評価の方法としてこの対象にしたのは適切であるというような評価をいただいているところです。ただ、この と ですか、3つの項目に分けてと、あるいは3項目に絞ったことは適切であるというようなところで、少しここは重複しているかな

と思いますので、ちょっと整理をお願いしたいなと思っております。いかがでしょうか。

それから、この の御意見で、教育振興基本計画をもとに3項目に絞ったという表現があるのですが、従来のこの3項目というのは点検・評価でいいますと、その3つの項目に絞っているというのは、点検・評価の報告書でいうと、大きく、教育委員会の会議運営に関することと、あと教育委員会が管理及び執行する事務について、それから総合計画を推進するための取り組みの、この大きく3つの項目で分けて評価したというところかなとはちょっと思っていたんですが、振興基本計画をもとになると少し表現が違って来るかなと思ひまして、一応確認をお願いしたいなと思っております。

- 議長（齋藤 寧） それでは、ページ数でいうと56ページ。
- 教育次長（佐々木信幸） そうです。
- 議長（齋藤 寧） 大きな1番の点検・評価の対象と方法についての（1）点検・評価の対象ということでございます。

最初に説明いただきました と について、3つの項目に分けてということの表現的なものが重複していることもあるんだということが1点。

それから ですね。（「はい、そうです」の声あり）特に、美里町教育振興基本計画をもとにという、このところが今説明ありましたが、どのようにして変えていけばいいのかということになります。委員さん方、いかがですか。まず、2番目と3番目はこれ重複しているので、3つの項目にそれぞれ分けているというのはわかるので、その辺はまとめるというのがまずいい。（「そうですね、あの……」の声あり）新田委員さん、いかがですか。

- 委員（新田耕一） は私の意見なんですけれども、 も3つの項目っていうのは同じです。で、その辺うまく1つにまとめていただければいいのかなとは思うんですけれども。
- 議長（齋藤 寧） 邊見委員さん、いかがですか。
- 委員（邊見俊三） と を、これを1つの文章にまとめられないのかなと思っています。私のこの教育振興基本計画をもとにのところ、これをベースに、これ参照程度にしてはどうか。今のお話ですと、もとによって、かなり強過ぎるような表記であるならば、参照とかというふうな表記ではどうなのかって今ちょっと考え直したんですけれども。
- 議長（齋藤 寧） 実際もこの教育振興基本計画そのものからのってことではない。
- 教育次長（佐々木信幸） 大きく3つに分けてというのは、点検・評価報告書の18ページで示している評価の対象1）から3）までの3つの項目に分けて今回作業をしますよという部分だと思ひます。これ自体は去年、おとしもまあ同じ手法でとっておりますが、教育振興

基本計画というのができたのがその後で、去年なもんですから、ちょっとその辺、もしこの教育振興基本計画を入れ込むとすればちょっと表現変えないといけないかなと実は思っているんです。今、邊見先生が言われたように参照するとか、そういった表現であればいいのかなとも思うんですが。そうですね。ちょっと悩んでいるところでございます。

- 議長（齋藤 寧） これからいくとあれですね、何でしたっけ、総合計画推進するための取り組みの3つの項目というような。
- 教育次長（佐々木信幸） 多分、この3つの項目に分けてというのは、この1）のまず教育委員会の会議運営が1つ、2つ目が教育委員会が管理及び執行する事務、3つ目を総合計画を推進するための取り組み、この3つの項目に分けて点検を評価したことが適切ですよという多分御意見だなと思ったんです。なので、ちょっと振興基本計画をもとにと入れてしまうとちょっと意味合いが違ってきてしまうかなと思ったもんですから。
- 議長（齋藤 寧） まあ、うたってあるのはこの総合計画を推進するための取り組みの3つの項目というふうになる。
- 委員（邊見俊三） 3つに絞るという、その何か基本的なものというか、観点。私としては平成30年11月に策定されたこの基本計画、こういうふうなことを、これをベースにして私は3つの観点から絞ったというふうに捉えちゃったもんです。ただそれが、捉え方が、私の観点が、それでこう新田委員さんとまた違うのかなという、聞いていて。（「なるほど」の声あり）やっぱり絞るっていうことは、どこかをやっぱり何かこう基本にした部分があって、例えば、3つにはとても絞れないということもあるだろうし、今回は3つに絞ったというのが適正だというのは、1、2、3皆共通していますけれども、その絞るためのもっとその参照になる部分っていうのは、私はこれを考えたんです。（「なるほど」の声あり）そういう意味合いなんですけれども。
- 教育次長（佐々木信幸） それでは……。
- 委員（邊見俊三） ただ、それが余りにもちょっと意味合いが変わってくるとなれば、観点が必ずしも基本計画だけじゃないよ、いろんなものが多分あると思うんですけれども、もしこれが余りにも強過ぎるならば、ここは割愛してもいいのかなとは思います。これだけの、もしかしたら参照するのも、もっともっというんなものが付随しているものがあるのかもしれないけれども。
- 議長（齋藤 寧） こっちの報告……点検・評価報告書の中の18ページの点検・評価の対象の中には広範囲にわたる教育委員会とずっとあって、前年度に引き続き、要するに、今までと同

じょうな捉え方で30年度も評価は各現場っていうか、そういうふうをお願いしてきたんだという事なんですよ。

- 教育次長（佐々木信幸）　そうですね。対象の方法としてはこの大きな3つの分類方法で前年度と同様にさせていただいたという表現になります。
- 議長（齋藤　寧）　そうすると、今、邊見委員さん言われた、この基本……ごめんなさい、（「教育振興基本計画」の声あり）それが入る、そのことが出てくると何でしょう、今までの行ってきた評価の仕方と若干その中に、全部中身は変わるわけじゃないですが、それも含まれるということになるとその辺はどうかと。
- 教育次長（佐々木信幸）　そうですね。
- 議長（齋藤　寧）　私もちょっと答えが見つからなかったんだけど。
- 教育次長（佐々木信幸）　これをもとにということではちょっとないかな。これをもとに3つに分けたという意味ではないので、例えば、振興基本計画を踏まえてとか、もし入れるとすればですけども、かなとは思いますが。基本計画のほうが後からできていますので、去年つくった計画書なものですから。どうですか、ちょっと。
- 委員（邊見俊三）　この教育の点検・評価のやり方というのは、年度年度また違う、果たして継続していくものなのか、それとも年度年度でいくのかというふうな考え方には、あくまでも私はその年度年度ということで評価・点検の対象を考えていくのかなと思っていたので、そういうところで、もしかしたら去年つくられたのもさらに踏まえてって今言ったんですが、踏まえるとか、参照しながらというふうな考えで新たに3つの観点から絞って評価したほうがいいんじゃないかと。（「なるほど」の声あり）実際は3つの観点に絞って結構難しい話なんです、はっきり言えば。もっともっと実は3つで絞れない、もしくは領域もっともっとあるわけです。ただ、これはやはり3つに絞るっていうのは、何をもとに、何をベースにして絞られたと、私は例えば、これをもとにと思っていたんですけども、私の考え方がちょっとあれだったかなって思いますけれども。
- 教育次長（佐々木信幸）　確かに、30年度にこの計画ができて、実際、今これがもとに教育委員会の教育に関する取り組みが進められているという状況ですから、これをやはり無視というわけにもいかないでしょうから、先ほど申し上げたとおり、例えば、これを参照にとか、踏まえてというような表現であればいいのかなというふうに思いました。
- 議長（齋藤　寧）　いかがでしょう。
- 教育次長（佐々木信幸）　どうでしょうか。もとにっていうとちょっと強くなってしまいますので。

- 委員（邊見俊三） 強くね。
- 議長（齋藤 寧） 踏まえて、あるいは参照にしてということで、2つ出てきました。この教育委員会振興基本計画っていうのは、この間示していただいた。11月。
- 教育次長（佐々木信幸） はい、そうです。
- 議長（齋藤 寧） これは、この間次長先生から説明の中では、特に社会教育に関する資料としてのほうが、何ていうんでしょう、全部が全部ではないんだけど、そういうふうな意味合いのほうがどっちかっていうと強い。
- 教育次長（佐々木信幸） いや、ちょっとそこは意味合いが違ってまして、確かに社会教育の部分での評価の部分の資料として今回おつけしましたけれども、本来はそういう社会教育に特化したものではなくて、美里町が行う教育全体の振興基本計画としてつくったものなんです。その中の一部として、社会教育に関する文言がきちんと埋め込まれています。ですので、改めて社会教育に関する計画をつくらなくても、それにかえられるものとして今この計画書がありますよということでお出ししたところだったんです。実はこのことに関して、後で社会教育についての部分で少しお願いしたいなと思っているところがありました。
- 議長（齋藤 寧） 当然、この中身見ると、学校教育等の全部含められた学力関係も入っているんだね。はい。ちょっと今余計なことをお話ししてしまったような感じです。そうすると、邊見さん、今言った言葉としては、踏まえてとか、参照にしていくのと文言を加えてよろしいですか。
- 委員（邊見俊三） そうですね。
- 教育次長（佐々木信幸） では、踏まえて、あるいは参照してというような、ちょっとやりわりの表現にさせていただいて、それからあと と は合わせてということでよろしいでしょうか。そうすると、例えば、美里町教育振興基本計画を踏まえて……踏まえて……どうしようかな。も踏まえ、点検・評価の対象を3項目、3つの項目に分けて点検・評価……ごめんなさい、上とダブるのか。踏まえて、3つの項目に分けて点検・評価の対象としたのは、効果的な教育行政の推進上からも適切であるというふうな感じで。ごめんなさい、ちょっとうまく言葉にできないんですけども。
- 議長（齋藤 寧） 復唱はできませんでした。計画を踏まえ……。
- 教育次長（佐々木信幸） 踏まえ……。
- 議長（齋藤 寧） 3つの項目に分けてですか。
- 教育次長（佐々木信幸） ちょっとここから上に行きますけれども、3つの項目に分けて点

検・評価の対象としたのは……。

○議長（齋藤 寧） 効果的な。

○教育次長（佐々木信幸） ここから、下の「は」からまた下のここの の効果的な教育行政の推進上からも適切であるというふうにちょっとつなぎ、 と の合わせ技でいかなものでしょうか。

○議長（齋藤 寧） いかがでしょうか。よろしいですか。邊見さん、よろしいですか。

○委員（邊見俊三） はい。

○議長（齋藤 寧） では、2番、3番まとめた形で提案をしてもらうということでよろしくお願ひしたいと思います。（1）についてはよろしいですか。点検・評価の対象ということです。

○教育次長（佐々木信幸） 項目としては と ということでは2つに整理させていただくということではよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

○議長（齋藤 寧） では、（1）については 、 、2つの項目で提案してもらうと。

では、（2）の点検・評価の方法。この辺をお願いします。

○教育次長（佐々木信幸） では、（2）に移ります。

これは、ちょっと重複している中身が多くて、例えば、 と 、これは点検・評価の作業の流れですかね。教育委員会と評価委員会がやりとりをするという部分、あるいは もその作成の手順が明確になっているという表現で、この作業手順は有効であるというのがお二つの意見でございます。

それから、次の と も少し意見が、点検・評価の作業に、前年度の課題を取り組みとして扱っているという部分、これもやや重複している部分があります。

それから、 と と 、これは関係法令のチェックシートがわかりやすいということと、有意義な取り組みであるというような、若干の表現の違いはありますが同じ内容になっております。

この部分です。 と 、あと と 、あと から 、ここが御意見としては重複している部分というふうに思いますので、ここの整理を。どれか一つ選んでいただくという手もありますけれども、お願いできればなと思っております。

○議長（齋藤 寧） それでは、点検・評価の方法の中で、まず 、 、作業の流れと報告書の作成手順、流れ、同じような形なんですけれども、いかがでしょうか。

○教育次長（佐々木信幸） のほうがより具体的かなと思いますので、 を代表の御意見としてはいかがでしょうか。

- 議長（齋藤 寧） をもう含めてしまうと。
- 教育次長（佐々木信幸） はい。含めていただいて はいかがでしょうか。
- 議長（齋藤 寧） ということでよろしいですか。（「はい」の声あり）
それから、 と です。
- 教育次長（佐々木信幸） これもどちらかというの のほうがより具体的な説明にはなっております。作業手順、前年度の改善の取り残しがないように取り組んでいますよという部分での御意見だと思いますので。
- 議長（齋藤 寧） これも の項目を の中に含めてと。よろしいですか。
- 教育次長（佐々木信幸） もしよろしければ。いかがでしょうか。
- 議長（齋藤 寧） いかがですか。よろしいですか。（「はい」の声あり）
それでは、5、6、7、チェックシートですか、点検のほうの。これについてはいかがでしょうか。
- 教育次長（佐々木信幸） これも が具体的で、 、 は同じような御意見なんですけど、ただ、 と 、 が違うのは、 は有意義な取り組みだという結びなんですけど、 、 はわかりやすいというのがちょっと入ってございます。その辺の違いはありますけれども。例えば、 の本文を主に使うとして、例えば、括弧書きのところから、チェックシート活用することは、例えば、大変わかりやすく、有意義な取り組みと考えるというふうに入れて、下の と もちょっと拾いながらまとめてはいかがかなと思いますが、いかがでしょうか。
- 議長（齋藤 寧） 順守されているかを点検、チェックシート活用することは大変わかりやすく、有意義な取り組みと考える。
- 教育長（大友義孝） これ、5、6、7みんな入れたらだめでしょうか。
- 教育次長（佐々木信幸） 全部ですか。
- 教育長（大友義孝） 全部。
- 教育次長（佐々木信幸） 全部入れてもいいんです。御意見として皆さんからいただいたままをそのまま入れるっていうのも当然ありだと思います。
- 教育長（大友義孝） 違う。3つを1つに。
- 議長（齋藤 寧） まとめて。
- 教育次長（佐々木信幸） まとめる。はい。
- 教育長（大友義孝） 例えば、 だと関係法令が順守されているか点検、括弧、することはわかりやすく、適切な資料として有意義に活用できるとか。全部、3つ入れてしまっ。

- 教育次長（佐々木信幸） チェックシート活用することは大変わかりやすく、適切な……（「資料として」の声あり）資料として、そうか、適切な資料という表現もありますね。適切な資料として有意義に……。
- 教育長（大友義孝） 有意義な取り組み、活用ができるとか。皆入れて。
- 教育次長（佐々木信幸） はい。委員さん方がよろしければ。
- 議長（齋藤 寧） チェックシート、今、教育長先生から言われた活用が入るところ、チェックシートだけでいいんですか。もちろん活用。括弧の部分。
- 教育長（大友義孝） 括弧に活用入っている。
- 議長（齋藤 寧） 活用、活用が出てくるから。あるいはチェックシート、活用を消して。点検することは大変わかりやすく、適切な資料として有意義な取り組み、活用ができるということですか。よろしいですか。
- 教育長（大友義孝） 褒められているから、褒められついでに、入れたらどうかと。
- 教育次長（佐々木信幸） 褒められていることはできるだけ取り入れましょうということですね。
- 議長（齋藤 寧） 5、6、7まとめて今の文章が出てきましたけれども、よろしいですか。（「はい」の声あり）大変すばらしいと思っていますけれども。
- 教育次長（佐々木信幸） ありがとうございます。

あと、 から は……ごめんなさい、順番にいきます。

は今回少しなんですけれども、町の条例の教育委員会の活動の部分加えたのが一応評価いただいた部分です。

の数字が並んでいる部分などは図表化するとわかりやすいのではないかと。より図表化を進めてはどうかという御意見なんですけど、この数字が並んでいる部分っていうのがちょっと具体的にどの辺なのか御指摘いただけると取り込めるかなと思ってはいたんですけども。

- 委員（新田耕一） これは、すみません、私書いたんですけども、数字が並んでいるっていうのは、いっぱい並んでいるわけではないんですけども、ちょっと数字が出てきたときに、よりわかりやすいかなと思ったので、簡単にこのように書かせていただいただけなんですけれども。図表化は割と、さっきの最初の次長さんの説明にあったようにできてはいますので、大丈夫かと思うんですけども。
- 教育次長（佐々木信幸） 例えば、この数字が並んでいる部分、具体的にどこかというわけではないということで、（「そうですね」の声あり）どこかもしあれば教えていただけると次の

図表化に向けてもう少し頑張ってみようかなと思うんですけれども。

- 委員（新田耕一） さっき、つまり直していただいたような53ページとかの数字が並んでいるところ、ちょっと図表化はされてはいたんですけれども、より今回わかりやすくなったので、つまりこのような感じにっていうイメージでは書いていたんですけれども。なので、大丈夫にはなっていますので、はい。
- 教育次長（佐々木信幸） 今回は一応クリアさせていただいているという整理でよろしいんでしょうか。
- 委員（新田耕一） そうですね、はい。
- 議長（齋藤 寧） ということは、わかりやすいのではないかというのは、わかりやすいってことですか、結局。わかりやすい、さらに……。
- 委員（新田耕一） さらにっていうことなんですけれども。そういうことで。でもちょっと直していただいたので、まあ見やすくなりましたので、その部分はクリアしたのかなということで。
- 教育次長（佐々木信幸） そうですか。ありがとうございます。もし、そういう御意見なのであれば、次の点検・評価の結果の総合的な御意見のところに、同様の図表化が加えられ見やすくなったというような表現があるので、もし、そちらで整理していただけるのであれば、このをとっていただいてもいいのかなと思いながら聞いておりましたが、いかがでしょうか。大丈夫ですか。
- 委員（新田耕一） はい。大丈夫です。
- 議長（齋藤 寧） そうしたならば、 は次のほうの結果の中に加えてと。
- 教育次長（佐々木信幸） はい。ありがとうございます。
- 議長（齋藤 寧） あと、10、11については。
- 教育次長（佐々木信幸） は、今回 はアンケート調査したことについて御評価いただいている部分です。貴重なアンケートといえますというような、現場の声を聞くということで評価いただいた部分。

は、これはさらに評価委員さんが今後評価をする際に書類だけではなくて、幼小中の現場を見学できる機会があったらいいのではないかという御意見です。邊見先生だったかと思うんですけれども。

- 委員（邊見俊三） 結局、やはり学校現場、教育現場、大分私も最近では学校に行くことはないんで、状況が変わってきているんだなと思って、こういういろんな資料を、データだけから意見を問われても、何かこう主観的な表記にならざるを得なくなるんです。そうすると、そこに

客観性といった場合には、ちょっとやはり現場の状況を把握しながら意見を書けないんでということで、これ11番、ちょっと書かせていただいたんです。今後の、もし、そういう現場を何か研修じゃないけれども、そういうのがあるとさらに意見が、より客観的に書けるかなと、そういう意味なんです。

- 教育次長（佐々木信幸） そうしますと、例えば、今回の評価ではちょっと意見の取りまとめまで来ているので難しいんですけども、例えば、次回の点検・評価する際には、同時に現場の見学会なんかも入れたらどうかということなんでしょうか。
- 委員（邊見俊三） それが一番ずっと最後に書いたんです、その他にですね、その他に。どの項目にも入らない。
- 教育次長（佐々木信幸） ちょっと私も最初その他っていう欄つくろうかなとも思ったんですけども、手法の部分の一つになるのかなと思ったので、評価の仕方ですね、なので一応この分類として整理させていただいたんですが。
- 議長（齋藤 寧） 実際に行って、どういうふうになっているのかっていうのを、ぜひ。そうでしょうね、やっぱり現場でも教育委員会でも一生懸命努力されていることが、実際に現場に行って確認を。
- 委員（邊見俊三） 教育委員の皆さん方はいろいろと現場に足数を踏まれているので、やはり現場の状況とていうのは御理解されて、こういうふうな報告書の原案をつくられていると思うんです。私たちの場合には、そこところがちょっと、意見をこう書いても、その意見が本当にいいのかなという、何かそういう思いが、もう少し現場を踏まえて書ければいいなという要望を含めていたんですけども。
- 教育長（大友義孝） 入れてもいいんじゃないですか。
- 教育次長（佐々木信幸） これは評価委員さん全体の御意見として、そのまま掲載させていただいてよろしいですか。
- 議長（齋藤 寧） よろしいですか。（「はい」の声あり）
- 教育次長（佐々木信幸） よろしければそのように。来年度以降……。
- 教育長（大友義孝） 評価委員としてのほうがいいのかな。
- 教育次長（佐々木信幸） ああ、そうですか。評価委員として、幼稚園、小学校、中学校のつていうことですね。
- 議長（齋藤 寧） としての点、「、」ですね。
- 教育次長（佐々木信幸） として「、」。はい。

- 教育長（大友義孝）　ということは、１回目やったらすぐ見ていただかなきゃないってこと。
- 教育次長（佐々木信幸）　そうですね。スケジュール的にちょっとなかなか厳しいところなんです。どのタイミングで見ていただくかっていうのが。夏休み入っちゃうとできませんし、その前にはなるんでしょうが。あるいは、例えば、点検結果をまとめる前にまず現場を見ていただく機会をつくってもいいのかもしれないし。
- 教育長（大友義孝）　そうかもね。まあ、タイミング。
- 教育次長（佐々木信幸）　なかなか、この冊子まとめてからになるとちょっと厳しいかもしれないです、スケジュールは。まあちょっと来年度考えてみますので、スケジュール。
- 議長（齋藤　寧）　現場ってということは、結局１つのということになりますね。
- 教育次長（佐々木信幸）　まあ、そうですね。時間的に何カ所も回るってわけにいかないでしょうから、例えば、小学校１カ所、中学校１カ所とか、そんな感じでしょうか。
- 議長（齋藤　寧）　時間的なものとか。
- 教育次長（佐々木信幸）　もし回るとしても。
- 議長（齋藤　寧）　学校の迷惑にはならないですかね。
- 教育次長（佐々木信幸）　そんなことはないと思いますけれども。でもびっくりするでしょうね、学校側で。こういうこと今までしていないですから、もし行きますと言ったらば。
- 教育長（大友義孝）　でもやっぱり意見書を書いていただく、それには必要なんだな。
- 議長（齋藤　寧）　大事なこともわからないですね、やっぱり見るっていうのは。そうすると、このところは９番がカットというか、２番目のほうに移動するということで、９、１０というふうになりますか。
- 教育次長（佐々木信幸）　そうですね。　、　で１０個の御意見ということになります。
- 議長（齋藤　寧）　ここまでよろしいですか。（「はい」の声あり）
- 教育長（大友義孝）　６か。全部で。
- 議長（齋藤　寧）　ああ、そうか、上から来ているから、そうですね。申しわけありません。
- 教育次長（佐々木信幸）　ごめんなさい。
- 議長（齋藤　寧）　番号違いますね。
- 教育次長（佐々木信幸）　違いますね。
- 議長（齋藤　寧）　まとめたのがあるんです。すみません、私が勝手にちょっと。
- 教育次長（佐々木信幸）　、　、　、　、　、　ですね。　になります。
- 議長（齋藤　寧）　最後が６ですかね。

○教育次長（佐々木信幸） はい、そうです。ごめんなさい、間違いました。

○議長（齋藤 寧） 失礼しました。

それでは、大きな2番目の結果ということでお願いしたいと思います。

○教育次長（佐々木信幸） では、大きな2番ですが、まず（1）総合的な意見ということで、どの項目ということではなくて、例えば、点検・評価報告書の全体的にかかわる部分とか、事務的な部分ですとか、そういったところでの評価をここに整理しました。

まず、 と は図表化が図られたということで見やすくなっていてよいという、同じような意見です。 、 です。

それから、 網がけしたところ、実は私、つけ足したんですが、これは齋藤先生からの御意見だったと思うんですが、齋藤先生は私がこういうふうに項目立てした順番ではなくて、点検・評価報告書に書いてある項目で整理していただいていたんです。そこからここに抜き出すと、どこの部分なのかというのがちょっとわかりにくくなったものですから、総合計画を推進するための取り組みに関してはというところでつけ足させていただいて、あと政策に対するこの項目をつけ足させていただいたというところでございます。

あとは、 が評価委員会の時期が早くなったことに対する評価。それから は改善策も明確に示してあり効果的であると。 は前年の課題の多くが改善されつつあり、前向きに努力しているという御評価をいただいたというところで、もし、 の書きぶりがこれでよろしければですけれども、齋藤先生がよろしければ、あとは と をどちらかちょっと整理していただければいいのではないかなと思っております。

○議長（齋藤 寧） 、 です。図表化についてでございますが、まとめてよろしいですか。同じようなことです。特に、下の委員さんっておかしいですけれども、 の意見として年度ごとの比較分析ができてよい、何かこの文も、見やすくなったものに加えて。その辺いかがですか。私も報告書全体、ここの部分っていうんじゃなくて全体的にというようなことちょっと入れてしまったんですけれども。どうですか。

○教育次長（佐々木信幸） 図表化については、点検・評価以外にも、例えば、決算のところとか、そういった部分でも一応グラフとかは入っているので、全体的に入れているというところでは合っていると思うんですけれども。

○議長（齋藤 寧） 委員さん方、いかがですか。

○委員（邊見俊三） これ と を1つにするんですか。合わせるんですか。それともどちらかを引用するとか。

○教育次長（佐々木信幸）　じゃあ、すみません、ちょっと案ですけども、　と　をプラスするようなイメージで、報告書全体において図表化……図表化なので、図表化が図られ、わかりやすくまた見やすくなっている。ああ、また、またになっちゃうから、図られ、わかりやすく見やすくなっているっておかしいですね。図られ……。この　を「また」でちょっとくっつけようかなと思ったんですけども、また、点検・評価の結果に同様に図表やグラフを取り入れたことにより、年度ごとの比較や分析ができてよいというふうに。上のやつを、図表化が図られ、見やすくなったにして、どっちかで、わかりやすくか見やすくか、どちらか妥妥にいたいて。あと「また」で今の　をつけ加えてはいかがでしょうか。

○議長（齋藤　寧）　いかがですか。よろしいですか。（「はい」の声あり）

○教育次長（佐々木信幸）　いいですか。ちょっと私勝手に今言っちゃいますけれども、「報告書全体において図表化が図られ、わかりやすくなっている。また、点検・評価の結果に同様に図表やグラフを取り入れたことにより、年度ごとの比較や分析ができてよい」でいいですか。「年度ごとの比較や分析もできるようになってよい。」

○議長（齋藤　寧）　文言ですから。いかがですか。

○教育次長（佐々木信幸）　よろしいですか。ちょっとわかりにくかったですか。「報告書全体において図表化が図られ、わかりやすくなっている。また、点検・評価の結果にも同様に図表やグラフを取り入れたことにより、年度ごとの比較や分析がしやすくなった。」という表現ではどうでしょうか。

○議長（齋藤　寧）　しやすくなったと……なっている。

○教育次長（佐々木信幸）　なっている。はい。分析がしやすくなっている。

○議長（齋藤　寧）　ということで、よろしいですか。（「はい」の声あり）

○教育次長（佐々木信幸）　いかがでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

○議長（齋藤　寧）　ありがとうございます。

　あとのところはよろしいですか。中身もそのまま。（「はい」の声あり）そうすると、今、1になりましたから、3が2。

○教育次長（佐々木信幸）　そうですね。項目が1つ減ります。

○議長（齋藤　寧）　最後が5と。よろしいですか。（「はい」の声あり）

　それでは、（2）のところ、お願いいたします。

○教育次長（佐々木信幸）　これは、教育委員会の会議運営と教育委員の活動状況についてということで、お二つ意見をいただいております。　は定例・臨時会等がきちんと行われていると。

その中でもいじめ・不登校とか、社会問題になっている部分もきちんと審議が継続されているということで、評価としてはよい評価をいただいているということです。ただ、ここで言われているのが、会議の住民への公開は住民の権利でもあり、そのためのさらなる工夫があってもよい、この部分は恐らくですけども、傍聴者が少ないということに対しての御意見なのではないかと受けとめておりますが、多分そういう御意見かなと思いつつ、はい。どうなんですか。もうちょっとそこ具体的に入れたほうがわかりやすいかなと、もしかすると。

- 教育長（大友義孝） だとするならば、いじめ・不登校対策は非公開でやっているんだよね。
- 教育次長（佐々木信幸） そうなんですね。
- 教育長（大友義孝） だから、公開できる部分がないわけではないんですが、これを検討協議するに当たって、各学校の状況を報告をした上でないと協議ができないので非公開になっているんです、全体が。それをどう入れるかだな。
- 教育次長（佐々木信幸） そうですね。ここの……そうか。いじめ・不登校の流れからいっちゃうと、そこも傍聴させなきゃいけないのかというふうにはちょっと受けとめられますけれども、教育委員会全体的な話でいえば、確かに傍聴者が去年は少なかったなっていう印象はあるので、もう少し、秘密会を除いてですけども、入っていただく工夫が必要なのかなっていうのはありますけれども。
- 教育長（大友義孝） 工夫は必要だろうな。
- 委員（邊見俊三） ここは私、1、2私そこ書いたんでしたか。今の非公開、いじめ・不登校対策は非公開が原則なんですかね。
- 教育次長（佐々木信幸） そうですね、はい。
- 委員（邊見俊三） この、私資料見て、これは秘密会とかまた別な会、これとは。
- 教育長（大友義孝） あれなんです。審議事項がずっとある中で、全部が非公開の会議という部分でさっきのやつ、何ページだったか。
- 教育次長（佐々木信幸） 23回の会議のうち2回備考欄に秘密会と書いてあるんですが、あれは会議そのものがまるっきり非公開だったのを書いているんですけども、それ以外にも、実際全体的には公開でやっているんですけども、審議の中身によって議題の例えば1つ、2つが非公開、秘密会であるという場合はあるんです。そのときは、もし傍聴者がいれば、その時間だけ退席をしていただくというふうなことをしておりました。（「なるほど」の声あり）
- 教育長（大友義孝） こちらの25ページの 、 、秘密会って書いてあるんだけど、秘密会っていうと会そのものの全部っていう捉え方なんだよね、これ。審議事項という、議事の中の

1つだと秘密会って言わなくなるわけです。ここもちょっとどうなのかなって思っていたところも実はあるんだけども。

- 教育次長（佐々木信幸） 表現の仕方ですね。
- 教育長（大友義孝） ただ、法律上は「秘密会を開くとき」はなんだよね。
- 教育次長（佐々木信幸） はい、そうなんです。表現はそうなんです。
- 教育長（大友義孝） だから、こういう文言で出ているんだけど。まあ、例えば、県の教育委員会でも職員の人事に関する、あれは非公開っていうことになっている。
- 議長（齋藤 寧） 結局、この会議規則第何とかかんとかにのっとって秘密会はってなるから、その辺でしょうね。（「そうなんです」の声あり）尊重しなきゃないし。
- 教育次長（佐々木信幸） 秘密会って言葉なんです。
- 委員（邊見俊三） これまで、例えば、こういういじめ・不登校対策会議、その協議に入っているときは退席させるってことでしたので、ただ、今までそういうふうな、何だろう、傍聴人の方がいて、途中でこういうふうなことで退席させたケースっていうのはありますか。
- 教育長（大友義孝） あれは、美里の教育委員会としての配慮の中で、議事日程というのが決められているんです。その中の上のほうにあると、そして傍聴人がいらっしゃったときは、これをここでやっちゃうと一回退席してもらって、そしてまた入ってこなきゃないっていうケースがあるので、この部分に関しては、こちらに日程変更したいんだけどもどうですかってお諮りするんです。そして、そうですねっていうことになれば、一番最後に持って行って、傍聴人の方たちも、どの部分を聞きたいかはわかりませんが、その一定の部分の審議が終了して、一番最後に秘密会をすると、そういう配慮をしています。たった一回だけかな、ちょっと継続審議がずっとあったので、ごめんなさい、ちょっと秘密会なので、退席をお願いします。終わりました。どうぞ入室くださいってやったの、たった一回かな。
- 教育次長（佐々木信幸） ありましたね。
- 教育長（大友義孝） あったんです。会議の進行上やむを得ない扱いだった。（「はい」の声あり）ただ、いじめ・不登校対策の協議している中身について、先生言われるとおり、公開できるように何か工夫があってもいいっていうふうには思います。どういう公開ができるかな。ただ、そうなってくると、あそこの学校のこういうふうなケースはどうのこうのってまた出てしまうのね。
- 議長（齋藤 寧） 当然、件数であったり、内容的なものが出てくるでしょうから、やっぱり。
- 教育長（大友義孝） こういう学校ではこういうふうな対応しております。いや、その対応だ

けでは不十分だから、例えば、こういうふうな対応したらとか、そういうふうなことがばんばん出てくるわけですよ。そうすると、場合によって、何だ、あそこの学校そういうこと起きているのかって、こうなってしまうケースで。

- 議長（齋藤 寧） 非常にやっぱり難しいでしょうね。いろんなケースが、これはやっぱり。
- 教育次長（佐々木信幸） そうですね。このいじめ・不登校に関しては、やはり難しいと思います、公開は。特定されかねない。
- 議長（齋藤 寧） そうですよ。
- 教育次長（佐々木信幸） 学校もそうですけれども、場合によっては、じゃあその学校で何年生の女の子が、誰誰ちゃんが休んでいるとか、そういう情報がもしあれば、ああ、じゃあ、あの子なのかっていうふうに特定される可能性も出てきますので、非常に難しいかなと思います。
- 委員（邊見俊三） まあ、こういう、何ていうか、今非常に社会問題になっているいじめ・不登校、毎日テレビ、新聞に第三者委員会の設置とか何だって、随分こう最近は多くなってきている現状を踏まえて、やっぱり住民の方は、ただ学校非難とかでなくて、やっぱり教育委員会として学校現場にどういうふうな指導されようとされているのか、そのためにどういうふうないじめの対策をどのように講じているのかっていうのも、そういう部分を住民の方は知りたいのじゃないかかなと思って。もちろん特定される部分については、もちろんこれは不利益を被るようなことがあってはいけないわけですから、当事者にとっては。そのような不利益を被らない範囲内、程度の中で、住民の人たちは当教育委員会ではどういうふうな考え方でいじめ防止を未然に図られようとしているのかという、その部分を知りたいのじゃないかと思って私は、何かそういう、まあ何人かもないと思うんですけれども、そういうふうな傍聴したいっていう方にはどういうことを考えているのかっていうことを知りたい人もいるのかなと。そのためには、全て退席ではなくて、やっぱりオープンにしている部分はきちっと住民の方に知ってもらっていうのも一つの大切な情報発信になるのかなというふうに私は捉えたんですけれども。ちょっとあれですよ、今の、これは難しいところなんですけれども。どういう話し合いの、非常にいろんな、多分あそこにも書いてあるように、これは毎回継続審議されているから、非常に熱の入った審議が繰り返されていると思うんです。それだけに、やっぱり町の人たちは知りたいんです。どのような方策を講じようとしているのかということになるのかな。私そう思っているので、ちょっと書かせていただきました。
- 教育長（大友義孝） オープンにしたいところなんだけれども、今先生の言われている部分については、学校のお知らせでしなきゃないことも義務づけられてきているところもあるんです。

こういうふうな事例がこの学校にあったという部分については、保護者各位にお知らせするところも今あるので、そういうふうになさいという指導もありますので、そういうことの審議をしているということであれば、傍聴人がいらっしゃってもいいとは思いますが、ただ、それぞれの委員さんたちが気をつけて発言しなきゃいけない苦しさも今度逆に出てくるという部分があるんです。ちょっとこれは、先生おっしゃる考え方は十分理解できますので、ただ、文言として、もうそうなんだろうなというふうに思うんです、ここは、ストレートに読んで。

○委員（邊見俊三） でも、考え方次第では、こういう定例教育委員会、臨時の教育委員会とか、教育委員の方たちはあくまでも住民の代表というふうに考えていければ、住民の代表ですよ、（「はい」の声あり）教育委員。特別な人たちではないと考えれば、住民への情報発信は教育委員さんが代表してやっている、行われているというふうに考えれば、まあそれで、何となく状況はわかりますから。ただ、教育委員会と住民が完璧にその壁があって、いや、別だよというふうに考えると、これはやっぱりちょっと、教育委員会ってそのものの性格がちょっと困惑してしまうんですけれども。教育委員の人たちも町の代表者であるという考え方は、私は大事にしないといけないなって。そうなれば、今言ったように、やはりどうしても特定されちゃうとか、あとどこだって問題が結構あるんです。何かこう、情報発信が正しく発信されなくなって混乱するような状況になってきたのでは、これは本末転倒してしまうんですけれども。公開したことが、これ結局大変なことになっちゃうわけです。そういったのも含めて、でも何かしらもう少し工夫されるアクションがあってもいいのかなということ。今こういう時代で毎日騒がれているから、それ言うと、今、美里町はそういうのいないんですけれども。

○議長（齋藤 寧） これが入ると、結局、いじめ・不登校についても含んでしまうでしょ、この文言からでいうと。

○教育次長（佐々木信幸） 邊見先生の御意向とすれば、このいじめ・不登校対策の部分での公開も工夫してほしいというお考えなんですよ。それをもし評価委員会の御意見として提出されるのであれば、このままの文言をいただいて、あとは教育委員会でそれをどう受けとめて、どういう対応をしていくかなんですが、そこはちょっと慎重に今後検討していくというふうな今はちょっと答えしか出せないのかなと。じゃあ公開しますっていうわけにはすぐはいかないと思うので、公開できる部分とできない部分をきちんと整理してやっていくと。

○教育長（大友義孝） さらに工夫があってもいいんじゃないですか。そのとおりです。住民の皆さんはそういった部分気にとめているから、それを知りたいところもあるんだと。だから取り組みとか何か、一つ一つのどの学校でどういうふうな事件があるとか、そういうことじ

やなくて、学校として教育委員会としてどういうことをしているんだということを、逆にその審議内容が伝えられるような会議の持ち方、それを工夫してどうですかってということなんですよ。それはいただいておいて、教育委員会でそれを、やり方を少し検討する必要はあると、そういうふうに出のほうも、教育委員会としても考え方は。

- 教育次長（佐々木信幸）　そうですね。教育委員会で最後のまとめを考える際には、今お話ししたような内容で今後も慎重に検討していきたいというふうなお答えになるかと思えますけれども、御意見としていただくということは問題ないと思います。
- 委員（邊見俊三）　個別の案件についてのどうこうっていうのは、これは難しいことですので、教育委員会としてのこういうふうな方針ですよっていう発信です。なかなか一般の町民の人はわかりにくいところがあるかと思うので、教育委員さんは当然わかると思うんですけども、その辺の少し発信の仕方を少し工夫していただければというふうなことです。
- 教育長（大友義孝）　わかりました。
- 議長（齋藤　寧）　よろしいですか。

についてはどうなんでしょうか。これは職員の問題ですか、非常職。

- 教育次長（佐々木信幸）　これちょっと複合的に書いてあるんですけども、上部分は非常勤……教育委員さんがまず非常勤としての性格なので、活動への参加が十分に確保できないのではないかという。あとは今後とも保護者、教育現場、多様な住民の声を聞くことで課題を捉え、検証をし、次年度の改善につなげていくことを期待すると。教育委員さんに対しての立場的な制限はあるでしょうけれども、今後も検証、改善策を考えてくださいというようなことなんでしょうか。
- 委員（邊見俊三）　今現在も教育委員さんはいろいろと、大変限られた時間の中で非常に御尽力されているということは、この資料からもよくわかります。ただ、やっぱりその限りはあるんだけど、その限りの中で、やはり私さっきも言いましたように、教育委員の方っていうのは地域の代表者というふうな考え方をすると、さらなる保護者の方の声なき声とか、やっぱりそういうふうなところもう少し吸い上げるようにというふうなことで、そのためには、じゃあ非常勤を常勤するかっていうと、これもまた大変なことになりますので、可能な限り、町民の意向とか保護者とか、そういったいろんな多方面の声を限りなく吸い取っていただいて、次なる改善策に発展させてほしいというような要望なんですけれども。私からこういうのはちょっと傲慢なことになって申しわけないなと思うんですけども、もう精いっぱい頑張っ取り組まれているのかなと。もうこれ以上はどうしろというのやというふうなことかもしれませ

ん。

- 教育長（大友義孝） それはないと思いますけれども。多少これは、そういうふうには非常勤の職だからなかなか時間の制限があって、でも頑張っているようだ。だけれども、もっとこういうことをやっていただければどうですかと。
- 委員（邊見俊三） 無理難題なことを。
- 教育長（大友義孝） いや、いいんじゃないですか。
- 委員（邊見俊三） いいですか。
- 教育次長（佐々木信幸） はい。
- 委員（邊見俊三） もし何だったら、そこは割愛していいですよ。
- 教育長（大友義孝） いやいや、いいんじゃないですか。
- 議長（齋藤 寧） 具体的に保護者とか、それから教育現場はもちろん現場なんだけれども、あとは住民の声を聞く。実際にその、何ていうんでしょう、機会っていうか、どんなところであれば。
- 教育長（大友義孝） 委員さん方は、今回のケースについては、中学校の統合の問題もありましたけれども、意見交換会にはほとんど委員さん参画しているわけです。そういった意見を直接聞いたり、あとはアンケートとか、あとはいろんな要望事項とか来ている部分については、紙で来る部分については全て目通ししていただくようお願いしています。そうじゃないと、教育委員会の協議も成り立たないんです。ただ、あえて教育委員会だけの懇談会やったことあるかっていうと、教育委員会だけではなかなかないんです。学校現場とするならば、なかなか委員みんなで学校に行って、先生方と意見交換をするっていう場がまあ少ないのかなというふうに感じています。

ただ、必要だなんていうふうには私思っているんです。というのは、先生方の働き方改革の部分も本格的になってきますし、それから指導要領の改正についても、今年のうちにはアクション起こさないとだめかなというふうに思っていました。それと、今後出てくるのが授業時数の確保の関係で、やはり保護者の皆さんとか、学校の先生たちの御意見も聞く場は今年、来年と出てくるように今検討しているところなんです。ですから、もっともっとやっぱりやっていかなきゃいけないというふうに思っています。

- 議長（齋藤 寧） よろしいですかね。（「はい」の声あり）

それでは、ちょっと時間になってしまいました。

では、（３）の学力向上。

○教育次長（佐々木信幸） ごめんなさい。（２）のうち、ってこの文面のままということ
でよろしいですか。

○議長（齋藤 寧） よろしいですか。（「はい」の声あり）

○教育次長（佐々木信幸） では、（３）３つ御意見をいただいております。ちょっとの部分
が、前段が職員の配置の部分にちょっと触れているんですが、結びとしては基礎学力の向上に
力を入れてほしいと。取り残される子供が出ないようにということなので、一応学力向上の施
策の部分に入れておりました。

○教育長（大友義孝） すみません。中座させてください。今日初めての社会教育委員さんの会
議がありまして。教育委員会から辞令の交付をさせていただくので、ちょっとだけ。（「は
い」の声あり）

○教育次長（佐々木信幸） ということで、今一応この学力向上の施策の部分に分類をさせてい
ただきましたが、これでよろしいかどうか、ちょっと確認です。あるいは場合によっては、前
段と後段分けてそれぞれの場所に入れ直すということもありますけれども。

あとは、はアンケート調査集計結果、これは学力向上委員さんの部分とかのアンケート。
あとはその児童生徒の学力が少しずつアップしているがとなったときのＣＲＴテストの結果と
か、あるいはアンケート調査での学校からの御意見などを含めての御意見だとは思いますが、
いずれさらなる学力向上をという御意見です、３つとも。

○議長（齋藤 寧） 特に一番上ですか。

○教育次長（佐々木信幸） そうですね。

○議長（齋藤 寧） 職員の配置と学力。

○委員（新田耕一） これ、私なんですけれども、職員の配置をしていただいていることは大変
いいので、つまり、基礎学力をっていうことをちょっとこう強調して取り残される、何ていう
んですか、言い方がよくわかんないんですけれども、上位の人たちはレベルアップしているみ
たいなんです、どうしても中位から下の皆さん、取り残されるところがどうしても多いみた
いなので、そこはできるだけ少なくなるようにっていうことをイメージしたかったんですけれ
ども。せっかく先生方をそろえていただいたので、専従の職員として基礎学力のアップ、取り
残される子供がないようにということを書かせていただきましたけれども。

○教育次長（佐々木信幸） 分類としてはここでもよろしいですか、学力向上の部分ということで。

○委員（新田耕一） そうですね。学力の向上ということで。

○教育次長（佐々木信幸） メーンということなんです。

- 委員（新田耕一）　メーンで書かせていただきました。
- 教育次長（佐々木信幸）　はい、わかりました。
- 議長（齋藤　寧）　では、そのままになるんですか。
- 教育次長（佐々木信幸）　これでよろしければ、　から　までこのままで。（「はい」の声あり）
- 議長（齋藤　寧）　それでは、さっきもちょっと出てきた、次です、いじめ防止・不登校。
- 教育次長（佐々木信幸）　御意見としては2つです。

　まず　は、どんな小さなことも見逃さず、重大事態にならないようにしっかり連携してください。学校、行政、家庭がしっかり連携してください。

　あとは、　は、全国的な社会問題です。美里町いじめ防止等基本方針に基づき、定期的に実態調査を行い、迅速に対応していることが伺われます。今後とも学校と教育委員会が連携し、問題行動等の早期発見、早期対応に努めていただきたい。

　連携という言葉のちょっと重なりはありますけれども、このまま、もしよろしければ2つ御意見としてそのまま承りたいと思いますが。

- 議長（齋藤　寧）　よろしいですか。（「はい」の声あり）

　それでは、次のページ、（5）です。

- 教育次長（佐々木信幸）　御意見は、施設整備については1件だけでした。昨年度行いましたブロック塀の点検。点検結果を受けて撤去をすぐしたことは重要であり、評価できるという御意見です。これはこのままでよろしければ、そのままいただきたいと思います。
- 議長（齋藤　寧）　よろしいですか。（「はい」の声あり）

　では、研修について。

- 教育次長（佐々木信幸）　（6）の研修ですが、これ最初　の部分、やはり私この網がけの部分ちょっと追加させていただきました。齋藤先生の御意見かなと思うんですが、すみません、齋藤先生に分類していただいた書きぶり、今回分けた項目がちょっと違ってしまったので、どの部分かというのがわかりにくくならないようにちょっとページを入れさせていただいて、この部分の記載ですということで明示をさせていただきました。研修が具体的に表で明示されているということ。事前事後の資料提出やアンケート調査もして生かされているということの御評価をいただいた内容です。

　につきましては、専門的な研修が多いということです。それから工夫がもっと……研修成果については効率的な伝達講習会の開催や校内研修会などにつなげていくための工夫が求めら

れると。ここは要望としての部分が入っております。今後ともさらに教育力が高められる支援を期待したいということです。ここに評価だけではなく、要望も少し入っている御意見ということです。これも、もしこのままでよろしければ、そのまま御意見として。

○議長（齋藤 寧） いかがですか。よろしいですか。（「はい」の声あり）

では、（ 7 ）の社会教育。

○教育次長（佐々木信幸） この社会教育についてはいただいた意見は1件だったんですが、最初に書いていたのが上の 7 でして、社会教育に関する資料として教育振興基本計画が策定されというふうな書きぶりだったのですが、さっきちょっとお話しして伺いましたが、教育振興基本計画そのものが社会教育に特化した計画ではなくて、全体の振興計画があって、その中に今回社会教育についての部分が盛り込まれましたという流れになっておりますので、意味合いを考えると下のようなことなのかなと思って書いてみました。社会教育に関してはこれまで計画書がなかったが、平成30年度に美里町教育振興基本計画が策定されたことにより、計画的な取り組みができるようになった。あとは、今後に期待したいという結びをそのまま使わせていただきましたが、こういった意味合いなのかなと思って書いてみたのですが、もしこれでよろしければ、ちょっとそこを直ささせていただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（齋藤 寧） A4版にまとめようとして、1行だけしか書かなかったんですけども、次長さんにまとめていただきまして、ありがとうございます。

○教育次長（佐々木信幸） こういうイメージで捉えてよかったでしょうか。

○議長（齋藤 寧） ありがとうございます。よろしいですか。（「はい」の声あり）

では、学校評議員。

○教育次長（佐々木信幸） 学校評議員の活用につきましては、いただいた御意見は1件です。今まで実態がよくつかめていなくて、学校現場でどのように生かされているのかというところだったんですけども、実際アンケート調査をしたことで学校や地域の実情を踏まえて活用をされているということがわかりました。

ただ最後に、評議員に関して教職員の考えや課題を調査項目に入れてはどうかという結びになっております。これは今回やったようなアンケート調査の中に、評議員に関して教職員がどのような課題を持っているかということも調査してはどうかという御意見かなと思いましたが、次回の調査項目の中に反映させていただければなというふうに思っております。

○議長（齋藤 寧） 学校評議員についてでございます。

○教育次長（佐々木信幸） 今回のアンケート調査、そのアンケートでは、評議員が活用されて

いるかどうかというようなところで主に調査させていただいたんですけれども、これはもう一歩踏み込んで、学校現場で評議員に対してどのような考えや課題を持っているかというのものがほしいということだと思いますので、次回から考えたいと思います。

- 議長（齋藤 寧） よろしいですか。（「はい」の声あり）

では、最後のページです。（９）職員の配置。

- 教育次長（佐々木信幸） ここはなかなか課題とすれば難しくて、教育委員会だけの課題としてはちょっと難しい部分もございますが、毎年出てくるところではございます。

それで、まず ですけども、多分このあれですね、職員の配置として職員、まあ非常勤が多いという部分に触れられての御意見だと思いますが、改善策に当たり多くの難題があると思われるが、関係機関へ住民の声等幅広く聞きながら進めてほしいというところと、 は、今申し上げた非常勤が多いという部分については改善できるように町当局に働きかけを続けてほしいという御意見２ついただいております。多分この は、非常勤が正職員より多いというところに対しての御意見なのかなと思うんですが、そこだけちょっと確認をお願いしたいなと思っております。 とその部分は同じかとは思いますが、

- 委員（邊見俊三） そうですね、 ですね。これもずっと長年の課題がずっとこう来ていますので、なかなか改善策といっても、先が少し見えないような感じなので、非常に難しい問題だということ。ただ、ここ、難しい問題ではあるんだけど、やはり教育というのは子供の安全、保育、教育の完全保障、これを考えた場合には、やはりできるだけ多くの正規職員を増員していただいて、やっぱり教育の質を高めていくことが大事なというふうに考えていたところです。そのためには、やっぱり当局だけは難しい問題、下にも書いていますけれども、町当局のみならず、やっぱりいろんな声を多く拾って、何かそこに模索ではあるんだけど、何か手だてを見つけるようなやはり改善策の筋書きができないものかなと。ただ難しい、難しい、難しいと毎年同じ課題が残されているので、そこに何かアクションできるものがないのかということなので、もしかしたら町民の方のそういう声なども聞けたならば、もしかしたら何か情報っていうか、役に立つ声が聞けるのではないのかなと、ちょっとそういうことを考えて書かせていただきました。

- 教育次長（佐々木信幸） そうしますと、上２行の部分です。子供の安全、保育、教育を保障し、教職員の人材の育成を図る上からも重要な課題とありますが、これはいわゆる正規職員の配置はというふうなことで考えてよろしいですか。

- 委員（邊見俊三） そうなんです。

○教育次長（佐々木信幸） であれば、ちょっと最初にその文言を入れさせていただいてもよろしいでしょうか。例えば、正規職員の配置についてはとか。正規職員の配置については、子供の安全、保育、教育を保障し、教職員の人材の育成を図る上からも重要な課題であるというふうなちょっと文言足させていただいてよろしいですか。

○議長（齋藤 寧） よろしいですか。

○委員（邊見俊三） はい。

○教育次長（佐々木信幸） ありがとうございます。

では、もしよろしければ、この2つともそのまま。

○議長（齋藤 寧） 2つ。 、 、 2つ、よろしいですか。

○教育次長（佐々木信幸） ちょっとかぶる部分はありますけれども、 のほうは町当局への働きかけというのが入っておりますので、そのまま、もしよろしければ。

○議長（齋藤 寧） 非常勤ですよ、あと。よろしいですか。（「はい」の声あり）

では、（10）の教育相談についてです。

○教育次長（佐々木信幸） これは1件の御意見です。教育相談については、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーが子供、保護者、教師が抱える問題に対してきめ細かく相談に当たるなど、充実した相談活動が伺われますと。今後とも教育相談員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用及び関係機関との連携のあり方を含め、より一層充実した教育相談活動を期待すると。今も一定程度、相談体制をとってはおりますけれども、より一層充実した教育相談活動をとという要望の部分も含めての御意見でございます。これはもしよろしければこのままでも、いただいてもよろしいかなと思います。

○議長（齋藤 寧） よろしいですか。（「はい」の声あり）よろしいですか。（「はい」の声あり）

では、学校給食についてお願いします。

○教育次長（佐々木信幸） 学校給食は2つ御意見をいただいております。

まず のほうは、法令点検のほうからの切り口でいただいておりますと、こちらでも栄養価の摂取の問題を昨年度の点検・評価から触れているところですが、栄養士がその情報を共有し、適正な献立の作成に努力していくことは食育にもつながり、家庭としても安心して給食に取り組めるものと考えます。今の栄養士を中心とした献立表、それから栄養価の摂取率の情報共有、この部分について評価をいただいている部分かなというふうに思います。

は、それに加えて、さらにです。全体のバランスがとれた献立になるように工夫してほし

いという要望としての御意見ということでございます。

これも学校給食に関するものですが、ちょっと観点が違いますので、2つそのままいただいてもいいのではないかと考えておりますが。

- 議長（齋藤 寧） 2つの意見ということで、いかがですか。よろしいですか。（「はい」の声あり）

それでは、最後になりますかね。広報。

- 教育次長（佐々木信幸） （12）です。学校再編のところでもちょっとこの話題には触れてはいるのですが、全体を読むと、やはり広報広聴の部分、教育委員会としての姿勢というんですか、そういった部分での評価だと思ひまして、ここに広報等についてという項目に整理をいたしました。中学校再編問題では意見交換会を数多く開催し、アンケートを実施するなど、しっかりと耳を傾け、拙速にならずに町民目線で慎重に進めている姿勢に好感が持てます。今後も町民の意見をしっかり聞きながら教育行政を前に進めることを望みますという要望、評価と要望ということでの御意見でございました。
- 議長（齋藤 寧） 広報等について、1項目なんですが、いかがでしょうか。
- 委員（新田耕一） ここ私、書かせていただきましたけれども、大体この、いいところに次長さんにやっていただいたように思います。
- 教育次長（佐々木信幸） いいですか。
- 委員（新田耕一） こういうイメージで。
- 教育次長（佐々木信幸） 広報等というと、広報と同時に聞く姿勢ということを見ると、広報広聴についてということになるのかもしれませんが、一応広報等についてとさせていただきますが。
- 委員（新田耕一） そうですね。広く皆さんにわかってもらえればいいかなという部分も、何ていうんですか、ぐいぐいと教育委員会が引っ張っているわけではないです。慎重にやっていますよっていうのをみんなにわかっていただきたいなと。それを実際やっていただいているみたいなので。
- 教育次長（佐々木信幸） ありがとうございます。
- 委員（新田耕一） そこを書かせていただきました。
- 教育次長（佐々木信幸） そうですね。確かに教育委員会でも、特に学校再編についてはいろいろな御意見があるので、なるべく皆さんの意見を聞く機会もとりましょうということで、数多く意見交換会をさせていただいているところではあります。

○教育長（大友義孝） すみませんでした。

○教育次長（佐々木信幸） あとはその御意見、直接的な御意見だけでなく、先ほど教育長からちょっと話が出ましたが、アンケートの調査結果とか、直接意見交換会に来られない方の意見も吸い上げる仕組みとしてはいろいろ工夫しながらやっているところではございますが、そういったところ、評価をいただいているんだらうなというふうに思っております。

○議長（齋藤 寧） 12番、よろしいですか。（「はい」の声あり）ありがとうございました。
そうすると、意見の取りまとめについては以上ということですか。

○教育次長（佐々木信幸） そうですね。今回ちょっと手直しといいますか、筆を加えたところが少々ございますので、あとこれを整理させていただいて、次回の評価委員会までにはきちんとした形でお示しをさせていただきたいと思います。取りまとめた結果は今日資料としておつけしておりますが、会長さんから教育長に対する検証結果の報告についてという文書で提出をさせていただきたいと思いますので、その点、御了承いただきたいなと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（齋藤 寧） よろしくお願いいたします。

それでは、審議の（１）終わってよろしいですね。大丈夫ですか。（「はい」の声あり）
（２）のその他として、次長先生のほうからございますか。

○教育次長（佐々木信幸） 審議としてのその他は特にございません。

あと、次回のスケジュールの確認だけはあとさせていただければと思っております。

○議長（齋藤 寧） 委員さん方から特に（２）その他としてはありませんか。

○委員（新田耕一） はい、特に私はありません。

○議長（齋藤 寧） よろしいですか、邊見さん。

○委員（邊見俊三） はい。

それでは、次回の日程確認を。

○教育次長（佐々木信幸） それでは、今日の次第の一番最後には書いてありますが、第3回会議ということで、前回の評価委員会の際に既に日程調整いただいております。8月7日水曜日、午後1時30分、201、ここですね、同じ会議室でお願いをしたいと思っております。

それで、この次の会議までには意見書としてのきちんとした形を整えます。それから、点検・評価報告書につきましても、今いただいた意見書と同じ内容の文面を報告書の中に盛り込みます。それに対する教育委員会の考え方、要するに、まとめです。いただいた御意見に対して教育委員会がどう対応していくかという部分も整理をさせていただいて、次の評価委員会に

お示しをさせていただきたいと思います。

ただ、実際この評価委員会 7 日なんですが、実は今、教育委員会としては臨時会を 8 日に予定しておりまして、最終的な点検・評価報告書の確定はその 8 日付になると思いますので、7 日で評価委員の皆様にお示しする教育委員会としてのまとめは、まだ案の状態ということでの内容になるかと思います。正式な決定した内容ではなく、案としてお示しをさせていただきます。あとは 8 日の臨時の教育員会で内容を確認していただき、正式な点検・評価報告書としてまとめさせていただくというふうな流れになります。よろしくお願いします。

- 議長（齋藤 寧） それでは、次回、今日出ました意見書のまとめ、それからそれを報告書に盛り込んだもの、そして 8 月 7 日に会議なんですけれども、臨時の教育委員会が 8 日の日にあるということで、教育委員会の対応については、まず案として 7 日の日に提示をしていただくと。（「そうです」の声あり）その後、正式な報告書としてということになるというふうな日程、それから内容的なものを今、次長先生からお話をいただきました。それについては流れです、よろしいですか、確認ということで。それではよろしくをお願いしたいと思います。

では、審議の分、終わってよろしいですか。（「はい」の声あり）ありがとうございました。（「ありがとうございました」の声あり）

- 教育次長（佐々木信幸） それでは、本日、5 番、審議事項全てこれで終了ということにさせていただきたいと思います。先ほど申し上げたとおり、今いただきました内容をきちんと整理しまして、次回 8 月 7 日第 3 回の評価委員会でお示しをさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

日程第 6 閉 会

- 教育次長（佐々木信幸） それでは、本日の会議、これで閉会とさせていただきます。

どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会時刻：午後 3 時 18 分

上記の内容は、令和元年度美里町教育委員会評価委員会第2回の会議の内容を、教育次長
佐々木信幸がまとめたものである。その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

令和元年 10 月 / 日

署名委員 邊見俊三

署名委員 新田耕一